

## 安全データシート (SDS)

作成・改訂：2016年11月01日

## 1. 製品及び会社情報

|              |                            |
|--------------|----------------------------|
| 化学品名称        |                            |
| 製品名          | PE 防災シート                   |
| 会社名          | 萩原工業株式会社                   |
| 担当部門         | 合成樹脂事業部 ターピ一部 品質強化課        |
| 住所           | 〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通1丁目4番地 |
| 電話番号         | 086(440)0820               |
| FAX番号        | 086(440)0818               |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 産業資材                       |

## 2. 危険有害性の要約

|          |   |
|----------|---|
| GHS分類    | 分類基準に該当しない。   |
| GHSラベル要素 | 分類基準に該当しない。   |
| 危険性      | 本製品は危険物に該当しないが、指定数量(3,000Kg)以上では「指定可燃物合成樹脂類その他のもの」に該当するため、火気注意のこと。                |
| 成分として    | PRTR法第一種指定化学物質の「アジフェン及びその化合物」を含有している。労働安全衛生法第57条の2の通知対象物である「アジフェン及びその化合物」を含有している。 |
| 有害性      | 製品としての情報なし。   |
| 成分として    | 三酸化アジフェン：人間に対しておそらく発癌性があると考えられるが、証拠が比較的十分でない物質(第2群B)。                             |
| 環境影響     | 野外に露出した場合、鳥等の動物が飲み込み窒息する可能性があるため、廃棄や露出には注意を要す。                                    |

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物  
組成及び成分情報

| 化学物質名     | 含有量 (wt%) | 化学式又は構造式                                      | 官報公示整理番号 |        | CASNo     |
|-----------|-----------|---|----------|--------|-----------|
|           |           |   | 化審法      | 安衛法    |           |
| ポリエチレン    | 87.0~92.0 | (C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> ) <sub>x</sub> | 6-1      | 整理番号なし | 9002-88-4 |
| 臭素化芳香族難燃剤 | 6.0~8.0   | —   | 登録済み     | 登録済み   | 有り        |
| その他       | 2.0~5.0   |   | 登録済み     | 登録済み   | 有り        |

| 化学物質管理促進法 (PRTR法) |    |          |           | 労働安全衛生法    |          |           |
|-------------------|----|----------|-----------|------------|----------|-----------|
| 種別                | 号  | 指定化学物質名  | 含有量 (wt%) | CAS No.    | 通知対象物質名  | 含有量 (wt%) |
| 第一種               | 31 | 三酸化アジフェン | 1.44      | 1309-64-4  | 三酸化アジフェン | 1.35~1.50 |
|                   |    |          |           | 13463-67-7 | 酸化アジフェン  | 1.20~1.55 |

## 4. 応急措置

|  |   |
|--|---|
| 製品形状がシート状であり、通常使用の場合は該当しないが、加工により粉砕等を行った場合は以下の処置を行う。 |   |
| 吸入した場合   | 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。<br>気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。   |
| 皮膚に付着した場合  | 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。<br>皮膚を速やかに洗浄すること。<br>気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。  |
| 眼に入った場合  | 水と石けんで洗うこと。<br>気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。<br>水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。<br>眼に刺激が持続する場合、医師の診断、手当を受けること。 |

飲み込んだ場合 気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。  
口をすすぐこと。

## 5. 火災時の措置

**消火剤** 水、粉末消化剤、泡消化剤、二酸化炭素、砂等  
**使ってはならない消化剤** 棒状注水  
**特有の危険有害** 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。  
**特有の消化方法** 熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。  
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。  
初期の火災には水（霧状水）、粉末消化器などを用いる。  
大規模火災の蔡には、泡消化剤などを用いて空気を遮断することが有効である。  
周囲の設備などに散水して冷却する。  
移動可能な製品は速やかに安全な場所に移す。  
**消化を行う者の保護** 一酸化炭素及び二酸化炭素や黒煙等が発生するので、防火服等に加え防毒マスクを着用することが望ましい。  
風上から消化する。

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意** 作業者は適切な保護具（『8. 暴露防止及び保護処置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。  
溶融物が付着した場合は、大量の水で冷却し、医師の診断を受けること。  
外観に変化が見られたり、痛みや刺激が続く場合は直ちに医師の診断を受けること。  
**環境に対する注意** 付近の着火源と成りそうな物を速やかに取り除くこと。  
環境中に放出してはならない。  
**回収** 掃き集め空容器等に回収し、指定の廃棄物処分法にて処分する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

**技術的対策** 『8. 暴露防止及び保護処置』に記載の設備的対策を行い、保護具を着用する。  
**取扱上の注意** 着火源に近づけない。  
直射日光を避け換気の良い屋内で保管する。  
**保管上の注意** 保管場所周辺では火気厳禁とする。  
強酸化剤（ハロゲン、過氧化物等）の近くには保管しない。

## 8. 暴露防止及び保護措置

**管理濃度** 設定されていない。  
**許容濃度** 設定されていない。  
**設備対策** 粉じん又は加熱溶融等で蒸気、ガスが発生する場合は局所排気装置を設置する。  
装置等に静電気防止処置を行う。  
**呼吸用保護具** 粉塵が発生する加工を伴う場合は防塵マスク、溶融等で蒸気、ガスが発生する場合は有機ガスマスクを着用する。  
**保護手袋** 軍手の着用が好ましい。  
**保護眼鏡** 粉塵、蒸気、ガス等が発生する場合は安全眼鏡を使用する。  
**保護衣** 長袖作業着が好ましい。

## 9. 物理的及び化学的性質

**物理的状態** 固体（ポリエチレン製糸条織物のラミネート品）  
**臭い** ほとんど無臭  
**融点** 105～130℃  
**沸点** 製品としての情報なし

|          |                 |
|----------|-----------------|
| 引火点      | 製品としての情報なし      |
| 爆発限界     | 製品としての情報なし      |
| 蒸気圧・蒸気密度 | 製品としての情報なし      |
| 揮発性      | 製品としての情報なし      |
| 比重       | 製品としての情報なし      |
| 溶解度      | 水に不溶            |
| その他溶媒    | 熱キシレン等の芳香族溶媒に可溶 |

## 10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性  
危険有害反応可能性

通常の実取扱い条件下では安定である。  
通常の実取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。  
燃焼により、一酸化炭素(CO)、NOX等の有害ガスが発生等が発生する恐れがある。

避けるべき条件

高温下、急激な温度変化

## 11. 有害性情報

製品の有害情報

急性毒性

皮膚腐食性・刺激性

目に対する重篤な損傷

または眼刺激性

呼吸器感作性・皮膚感作性

生殖細胞変異原性

発がん性

製品としての情報なし

製品としての情報なし

製品としての情報なし

製品としての情報なし

製品としての情報なし

製品としての情報なし

ポリフェンとして

IARCの発がん性区分でグループ3に分類されている。

三酸化アンフェンとして

グループ2B(IARC)第2群B(日本産業衛生学会)

生殖毒性

特定標的臓器・全身毒性  
(単回暴露)

特定標的臓器・全身毒性  
(反復暴露)

吸引性呼吸器有害性

製品としての情報なし

製品としての情報なし

製品としての情報なし

製品としての情報なし

## 12. 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性

残留性・分解性

生体蓄積性

土壌中の移動性

水圏層有害性

製品としての情報なし

製品としての情報なし

但し、海洋生物や鳥類が摂取することを防止するために、海洋や水域での  
投棄、放出はしない。

製品としての情報なし

ポリフェンは環境中で長期間分解しない。

製品としての情報なし

製品としての情報なし

製品としての情報なし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

成分に三酸化アンフェンが含まれているので、知事等の許可を受けた産業廃棄物  
処理業者に委託する。

焼却処分をしない。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に  
従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

**14. 輸送上の注意****国際規制**

国連番号 該当しない

海洋汚染物質 該当しない

MARPOL73/78付属書ⅡおよびIBCコードによりばら積み輸送海洋汚染物質

該当しない

航空規制情報 該当しない

**国内規制**

海上規制情報 該当しない

航空規制情報 該当しない

陸上規制情報 消防法における指定可燃物に該当するので、同法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

緊急時応急処置指針番号

なし

その他

水濡れ、異物混入及び荷崩れ防止措置を行う。  
包装を傷付けたり、破袋させるような乱暴な取扱いは厳禁。**15. 適用法令**

労働安全衛生法

三酸化アンチモン

消防法

指定可燃物（合成樹脂類3,000kg）

消防法施行規則第4条-3に適合、防災物品として登録済み

化学物質管理促進法

三酸化アンチモンを含有しているが、シート状の成形品より対象外  
但し、シートを熔融させたり、粉末状に粉砕する場合は、対象となる。**16. その他情報**

参考文献

JIS Z 7253:2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）」

JIS Z 7252:2014「GHSに基づく化学物質等の分類方法」

GHS Ver. 4 (UN) 2011. 7

独立行政法人 製品評価技術機構のGHS分類

化審法データベース（J-CHECK）

原材料メーカーの安全データシート（SDS）

その他

本SDSは、JIS Z 7253:2012に準拠し、作成時における  
入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも  
十分でない可能性がありますので、取扱にはご注意ください。本SDSの記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて  
変更して下さい。また、注意事項等は通常の手扱を対象としたものですので、特別な手扱  
をする場合には用途・条件に適した安全策を実施の上、お取り扱い願いま  
す。